

「看護の日」イベントを 開催しました！

看護師長 稲田 真由美
清水 里夏子

5月12日は



看護の日

看護の心をみんなの心に



テーマ：看護の心をみんなの心に～

5月12日は「看護の日」です。「看護の日」は、看護の心、ケアの心、助け合いの心を育むこと、また看護および看護師への理解を深めることを目的に、1900年に制定されました。この日が選ばれたのは、近代看護教育の母として有名なフローレンス・ナイチンゲールの誕生日に由来しています。

当院では、入院中の患者さんや外来患者さんだけでなく、地域の方に浜田医療センターに来院していただき、看護の日を知ってもらう、健康に関心をもってもらうことを目的として、今年は5月12日（月）に看護の日のイベントを開催しました。

1階正面玄関エントランスホールに、看護師による血圧測定、医師による健康相談、管理栄養士による栄養相談、緩和ケア認定看護師によるACP（アドバンス・ケア・プランニング / 人生会議）相談の窓口を設けました。看護への関心や理解を深めてもらうために、ホール内に各部署や認定看護師、看護学校を紹介したポスターを、また、看護職員の子供たちが書いたお父さんお母さんの絵を展示しました。イベント会場に来られた方には、「看護の日」を知ってもらうために、「看護の日」キャラクターである“かんごちゃん”のポケットティッシュやクリアファイルをお配りしました。

グッズを受け取られた方は、「今日は看護の日なんですね」「看護の日って何ですか？ナイチンゲールが生まれた日なんですね」とイベントに興味を持っていた、相談窓口に寄って下さった方もいらっしゃいました。入院患者さんにも看護の日を知ってもらうために、看護の日のイベント開催ポスターをお配りし、当日のお昼の食事には、メッセージカード付きの看護の日特別メニューを提供しました。

患者さんだけでなく、来院された地域の方々のなかには、足を止めてポスターを見てくださる方も多く、看護について改めて知ってもらう機会となりました。また以前入院していた患者さんやご家族が来院され、看護師に声をかけていただき、日頃病棟で働いている看護師が、退院後の患者さんや地域の方々と直接話をするよい機会にもなりました。

当院は、これからも皆様が地域で元気に暮らしていけるように、『医療を通じて“地域で生きる”を支援する』病院理念をもとに、職員一丸となって安心・安全な医療・看護を提供していきたいと考えております。

